

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県御勅使南公園	所管課	都市計画課
所在地	南アルプス市六科1588-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年11月1日
管理方式	指定管理者(株式会社富士グリーンテック、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと ・良好な緑地景観、環境を提供すること スポーツの場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	ラグビー場2面(34,000㎡)、遊具広場(25,000㎡)、徒渉池(1,200㎡)、疎林広場(4,280㎡)、トリムコース(3,400㎡)		
主な業務内容	公園施設及び設置器具等の維持保全 有料施設の利用承認 県が実施する大会等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	曾根丘陵公園、富士川クラフトパーク
---------------------	-------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	173,328	196,418	193,785	
	有料施設利用者数	13,867	13,329	15,057	
	利用者数合計	187,195	209,747	208,842	
	目標値	167,000	187,000	188,000	202,000
	目標値設定の考え方	昨年度の実績値を達成の目標とする	昨年度の実績値を達成の目標とする	公園利用者数は直近3年間の平均利用者数を目標とする	直近3年間の平均利用者数を目標とする
	対23年度比	100.0%	112.0%	111.6%	107.9%
稼働率					

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	551,750	700,000	559,000	762,000
	指定管理者委託料	78,908,000	77,673,000	77,673,000	78,549,000
	その他	1,353,370	1,557,000	1,398,934	1,400,000
	収入合計(A)	80,813,120	79,930,000	79,630,934	80,711,000
支出	人件費	20,805,353	20,500,000	18,256,254	20,388,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	58,438,467	59,430,000	60,261,469	60,323,000
	(うち外部委託費)(B)	21,425,914	20,000,000	23,511,651	21,000,000
	支出合計(C)	79,243,820	79,930,000	78,517,723	80,711,000
収支差額(A - C)		1,569,300	0	1,113,211	0
外部委託比率(B ÷ C)		27.0%	25.0%	29.9%	26.0%
利用者一人当たりの経費		376	413	372	418

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年4月～26年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:156人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
良好な緑地環境の提供	92.0%	0.0%	8.0%	0.0%
遊び、憩いの場の提供	98.0%	0.0%	2.0%	0.0%
スポーツの場の提供	95.0%	0.0%	5.0%	0.0%
イベント・教室	98.0%	0.0%	2.0%	0.0%
広報、接客等	94.0%	0.0%	6.0%	0.0%
各項目の平均	95.4%	0.0%	4.6%	0.0%

利用者の意見	1.遊具広場の年代別に利用形態が分かれたゾーニングに評価が高く、点検や清掃等も好印象を受けております。 2.整備については両極端な意見があり、安全上整然としてほしいという人と植物採取やバードウォッチングをするために、自然を残してほしいという人に分かれています。 3.相変わらず犬の散歩に対するマナーの悪さを指摘する利用者が多いです。
利用者の意見への対応	1.遊具・トイレにおいては、日常点検や清掃等で安心・安全な公園づくりを継続しています。 2.整備については、森林ゾーンにおいて、見えない死角を造らない程度で、場所により下草の刈高を高く設定して、生態系保全を行っています。 3.犬のマナー啓発については、講習会等による利用者への啓蒙活動を行っており、徐々に改善できているかと思われます。全体的には高い評価をもらっていますので、今後も多様な意見や指摘を受け入れた中で、公園価値を高めてまいります。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の保守管理については、日常点検等において必要に応じて利用禁止措置や計画的改善要望及び初期対応を行っています。夏は40度を超える激暑、冬は観測史上初めての大雪といった環境側面の急激な変化により、病虫害の発生や枯損が多くなりました。予防保全に努めていくことが肝要と思われます。	適切に日常点検・定期点検等を行い、不具合箇所を早期に発見し、速やかに施設の修繕を実施し、安全の確保を行った。
運營業務	都市公園運営の使命の一つである“良好な環境と安心・安全の提供”を目指して巡回・巡視を行い、リピーターの増加を目標としてきました。 25年度においては、リニューアルした遊戯ゾーンが県内外利用者に浸透した結果、平日の利用が増加しました。また自主事業で整備したジョギングコースは、休日になると県外からの利用者が訪れるようになり、今年度は三重県や滋賀県といった関西圏の方まで訪れ、県内外のアスリート育成の場としても利用されるようになった事は、長期目標で掲げた環境、健康、スポーツ調和型公園として確立されてきたと実感しています。	事業計画書に沿った職員配置を行い、細かい箇所まで目配りのできる体制を整えている。 また、植栽管理を徹底し、利用者に快適な環境を提供している。
自主事業	生涯型スポーツの推進では、自主事業で設置したジョギングコース開放による国体強化選手育成練習、環境事業では、毎年6月と10月の都市緑化月間中に行う森の樹育て(植樹イベント)やどんぐり課外授業(環境教育)、クラフト教室等、公園の特性に合わせた利用促進の事業を継続しています。 25年度の公園利用者数は、大雪の影響で閉園やクロスカントリー大会の中止を余儀なくされ前年度を下回ったが、21年比においては、3割弱の利用者数増加があり、着実に公園の付加価値の効果が出てきていると思います。	公園の特色を活かしたイベントを主催し、利用者から高評価を得ている。 自主事業で整備したクロスカントリーコースでの大会も開催され、利用促進に努めている。
利用状況	昨年度に排水改善工事を行ったことによりA面では降雨時にも試合が行えるようになり利用が伸びています。B面は引き続き多目的利用として開放しております。多目的ホールについては講習会利用の他にも、何でも使えるスペースとして自主事業も含めた中で、利用価値を高めていきたいと思っています。	ラグビー場の修繕工事を行った結果、有料施設利用者が増加している。 平成24年度は、遊具広場の改修により公園全体の利用者が大きく増加した。 平成25年度も平成23年度に比較して大きく増加している。

収支状況	<p>有料公園施設利用者増に伴い、利用料金収入は前年比101%、自主事業収入は同103%となりました。一方支出については、燃料費高騰による光熱水費や消耗品、需用費を除いては、ほぼ前年並み。応急的修繕費はその都度かけていきました。総括として、職員の気づきと責任感の共有、維持管理の順応的対応を継続することで、効率的な収支になったと思います。</p>	<p>直営管理を強化して、経費の節減に取り組んでいる。</p>
利用者満足度	<p>即時対応可能な体制を整え、常時整然とした植栽管理を徹底していることや植花活動を実施していること等が満足度を得られている表れだと思います。施設の不具合が生じているところは、その都度自主修繕等で処理できています。当公園の管理運営も8年目に入り、公園サービスの面では、概ね良い評価を頂いていると思います。今後も利用者目線で、気づきの心を持って、更なる利用者サービスの向上を目指してまいります。</p>	<p>高い満足度を得られている。今後も、利用者の意見を取り入れて運営を行うことにより、高い満足度を維持出来るように努めること。</p>
運営目標の達成状況	<p>運営目標の指標 公園利用者数 目標値 188,000人 実績値 193,785人 有料施設利用者数 目標値 13,300人 実績値 15,057人 有料施設におけるスタンド改修工事もある中で、前年度までのグラウンド排水改善により、有料施設利用者数は13%増えました。25年度の公園利用者数は、大雪の影響で閉園やクロスカントリー大会の中止を余儀なくされ、微減となりました。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>適切な植栽管理や清掃により、園内は利用者にとって快適な環境に保たれており、高い満足度を得られている。 特に有料公園施設の芝生においては、利用者から高い評価を得られている。 今後も、老朽化した施設への効率的な修繕等の実施や自らの提案により、施設等の維持管理を強化すること。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>当公園は、利用性の異なるゾーンが延長約2kmにわたって配置されているため、各々の施設において利用形態が異なり、管理運営するポイントも一律ではありません。職員による日常的な清掃・点検・巡回業務により、安心・安全な公園環境を維持し続けます。 緑地維持管理においては、ゾーン毎にメリハリをつけた維持管理を行っています。事前予防と初期対応を重視し、残存する樹木や植物の生態環境を把握したなかで、快適な緑地環境を保持していきます。 公園施設の老朽化対策については、全国で発生している老朽化施設が原因の事故等を踏まえ、自主点検強化と自主修繕による予防保全を徹底して、補修改善または撤去更新等の対応をします。</p>	

7. 管理体制(組織図)

